

【質問2】鹿野地域とのかかわりについておたずねします。

①「鹿野」の地名を以前から知っていましたか?

a よく知っていた b ある程度は知っていた c あまり知らなかった d 全く知らなかった e 鹿野在住

a のよく知っていたが過半数を占めており、b のある程度知っていたが次に続く。鹿野在住は 5%にも満たない。リピーターが多いことが言える。

②鹿野のことをどうやって知りましたか? (複数回答可・優先順位 2 つまで)

a 友人・知人から b 地域広報誌で c テレビ・ラジオで d 新聞や雑誌で e インターネットで f その他

友人・知人からの口コミが大多数であった。その他の中には、周辺地域在住、親戚の実家、仕事やドライブの通り道などの回答が見られた。また、b~c の具体的な媒体名につ

いては、「トライアングル」、「キャンプガイド」などの雑誌や、「ケーブル TV」などの回答が寄せられていた。

③今回鹿野を訪れた目的は何ですか? (複数回答可・優先順位 2 つまで)

a 力フェでくつろぐ b 食を楽しむ c 読書 d スケッチ e 年に 1,2 回 f 買い物をする g ペットとお出かけ h 自然を楽しむ i ツーリング j スポーツ k その他

h の自然を楽しむが 3 割近くを占めており、次に a の力フェでくつろぐ、b の食を楽しむと続く。結果が顕著に割れていることから、鹿野の行楽地としてのイメージが固まっていることが分かる。むろん、これは良いことではあるが、逆に言えば多様なアメニティの提供が今後の課題になってくるであろう。

④一年に何回くらい鹿野に立ち寄りますか?

a ほぼ毎日 b 週に 1,2 回 c 月に 1,2 回 d 季節ごとに e 年に 1,2 回 f その他

d の季節ごとにを選択した人が最も多かったことから、四季折々の豊かな自然の風景を求めてやってくる人が多いことが推測できる。また、c の月に 1,2 回、e の年に 1,2 回の回答が多く、さらに f のその他の中には、年に 3 回以上訪れるという回答が多かったことから、定期的に鹿野を訪れる人がほとんどであることがわかった。

⑤こちらのお店以外に、鹿野にある他の施設を訪れてみたいですか?

a ぜひ訪れてみたい b 時間があれば訪れてみたい c どちらとも言えない d あまり興味はない e 興味ない

b の時間があれば訪れてみたいが約半数を占めており、次に a のぜひ訪れてみたいという回答が多かった。b の回答がやや消極的であることから、こちらから情報提供などを行い、a の回答のような積極的な意欲を持ってもらうことが今後の課題として挙げられる。また、a と b を選択した人のほとんどが他に訪れてみたい施設として温泉を挙げていた。(中には石船温泉と回答している人�数名見られた) その他にも、カフェ・レストランなどの飲食店や、漢陽寺、二所山田神社など、歴史を感じられる施設を求める意見が見られた。

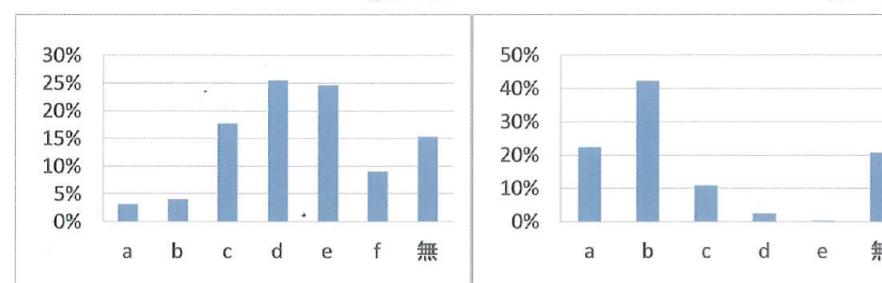
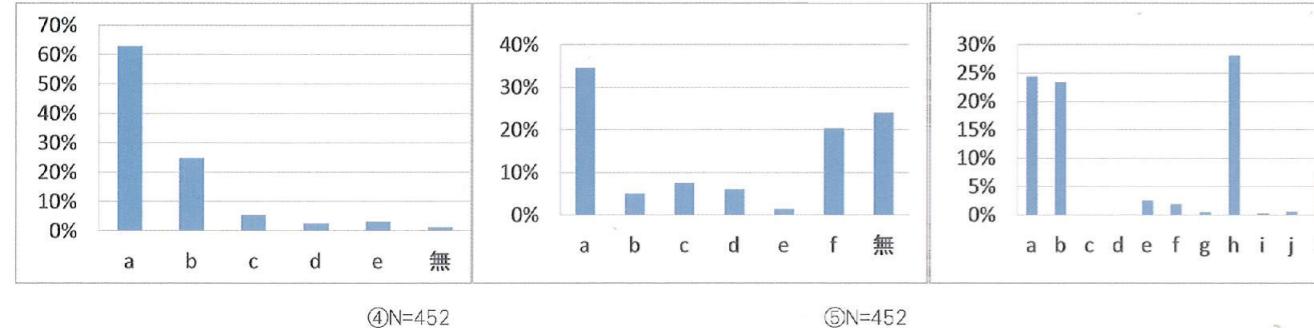
①N=452

②N=500

③N=611

④N=452

⑤N=452



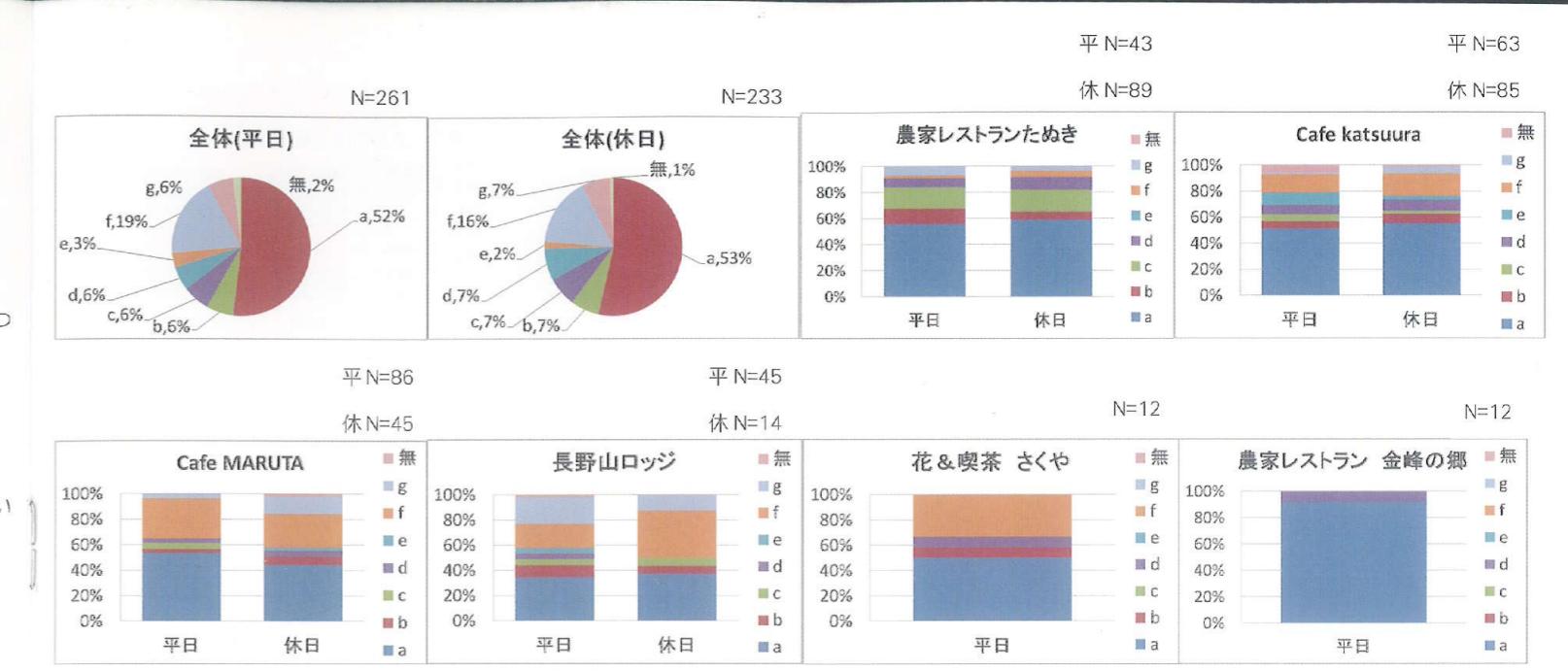
【質問3】こちらのお店についておたずねします。

①こちらのお店の情報をどうやって知りましたか? (複数回答可・優先順位 2 つまで)

a 友人・知人から b 地域広報誌で c テレビ・ラジオで d 新聞や雑誌で e インターネットで f たまたま通りがかかる(_____方面への途中) g その他

全体にお店の情報は、友人・知人からが多い。たまたま通りがかかるという人もおよそ 2 割いる。

店別に見ると、Café katsuura では休日は、知人に聞いてくる人がほとんどだが、平日は山口へ行く途中やカフェ本、雑誌『トライアングル』を見てくる人がいるようだ。また元々知っている人もいた。農家レストランたぬきでは知人から聞いて、またテレビやラジオで紹介されたのを聞いてくる人もいる。Café MARUTA では津和野へ行く途中で来る人が多く、休日になると広報誌や雑誌などを見てくる人が多い。長野山ロッジについては友人・知人から聞いたり、元から知っていたり、山登りの目的で来ている人がいるようだ。さくや、金峰の郷と共に回答数が少ないが、正確には言えないが、友人・知人から聞く人が多い。さくやは、阿東や徳佐、津和野方面からが多い。「金峰の郷」は、a と d に二分している。

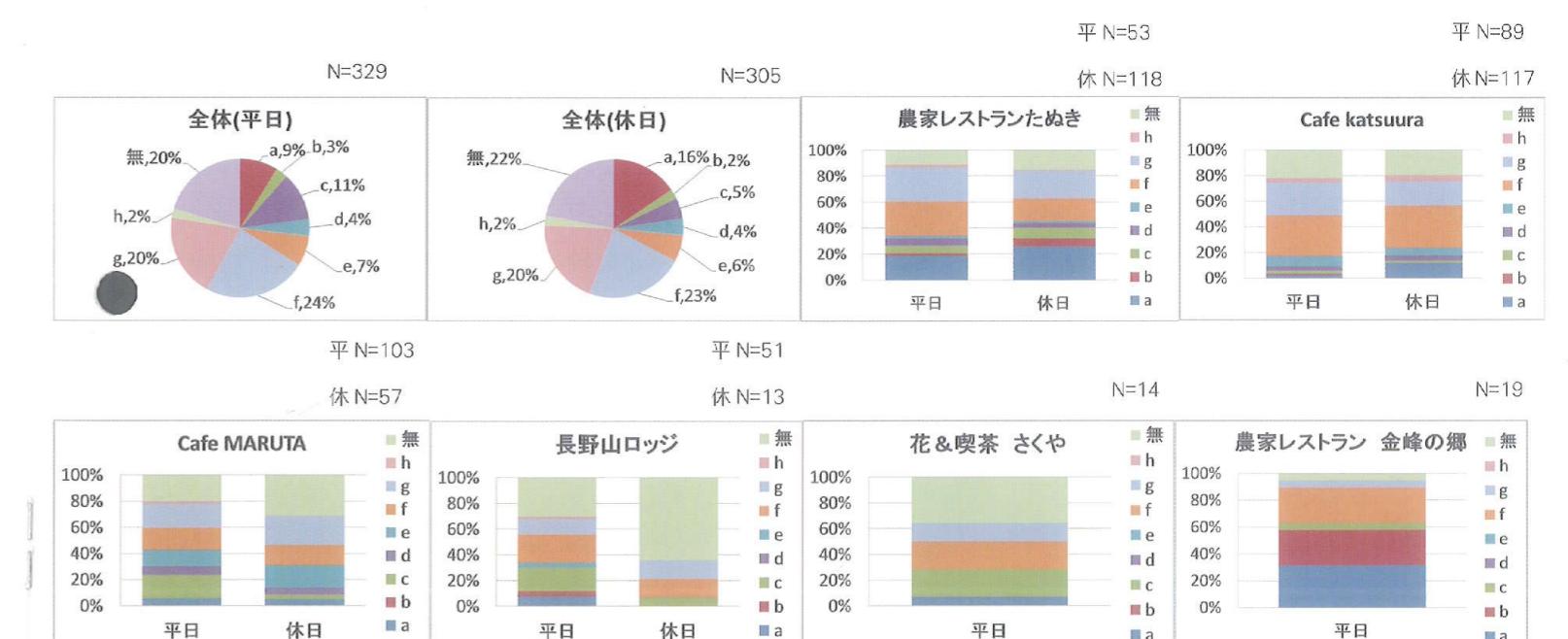


②鹿野を訪れる前は、こちらのお店の何が魅力だと感じていましたか? (①で f, g に回答された方を除く・複数回答可・優先順位 2 つまで)

a メニュー b 値段 c 店員の人柄 d 店のインテリア e 建物の外観 f 周囲の風景 g ゆったりした時間 h その他

周囲の景観やゆったりした時間が約 2 割を占めている。その他には味付けや素材、紅葉などの回答があった。全体的に「無」が多かったのは、無回答の他に無効(超過回答など)も含まれているためである。

店別に見ると、Café katsuura については周囲の風景、ゆったりした時間が魅力と感じている人が多い。休日は、ゆっくりとメニューを楽しみにも来ているのかもしれない。農家レストランたぬきはグラフを見ると、平日と休日での変化はあまりなく、店のメニュー・外観、周囲の風景、ゆったりとした時間に魅力を感じている人が多い。Café MARUTA では「MARUTA」の建物の外観に魅力を感じてくる人が多い。平日は常連客であろうか、店員を重視する割合が高い。長野山ロッジについては店員の人柄と周囲の風景を魅力と感じる人が多い。「さくや」では、店員の人柄や周囲の風景を、「金峰の郷」では、メニュー・値段などを重視している。

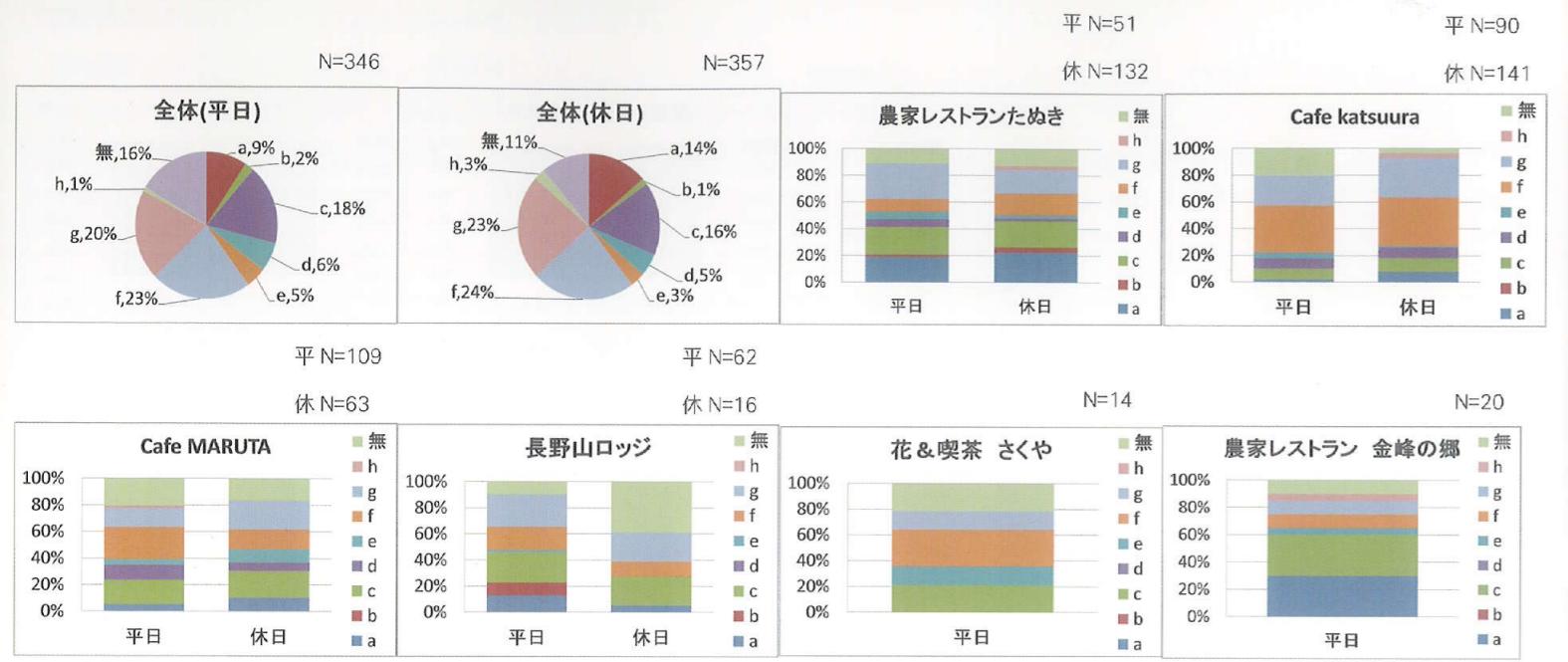


③実際に鹿野を訪れて、こちらのお店の何が魅力だと感じましたか? (複数回答可・優先順位 2 つまで)

a メニュー b 値段 c 店員の人柄 d 店のインテリア e 建物の外観 f 周囲の風景 g ゆったりした時間 h その他

平日と休日に分けてみたが、あまり変わらない。

Café katsuura では平日に訪れる人の方が建物の外観に魅力を感じている。周囲の風景、ゆったりとした時間に魅力を感じたようだ。農家レストランたぬきについては、②と比較すると、店員の人柄が魅力だと答える人が増えている。今まで来たことの無かった人が実際に来てみることで店員の人柄が分かったように思われる。Café MARUTA については、実際に行くと、休日ではメニューに魅力を感じる人、休日・平日共に店員の人柄に魅力を感じるとの回答が増えている。長野山ロッジは平日、休日とで違いがある。平日では、メニューに魅力があると回答する人が増えた。「さくや」では、②ではなかった建物の外観と答えた人が増えている。「金峰の郷」も、②ではなかった外観やゆったりした時間など、実際に見てみると他の魅力があると答えた人が多い。



【質問4】鹿野の観光地としての魅力についておたずねします。

①あなたが感じる「鹿野の魅力」だと思うものを選んでください。(複数回答可・優先順位3つまで)

- a きれいな空気 b 清流 c 山野草・花 d 森林 e 紅葉 f 星空 g 温泉 h 山の幸 i ツーリングできる j ペットと楽しめる k 山の中のカフェ l 花火 m 雪景色
- n 懐かしい風景 o 静寂さ p その他

一番多かったのは a きれいな空気であった。次点に b 清流が続いた。鹿野の自然そのものが魅力を感じている人が多いようだ。規定以上の数を回答していたものは、今回無回答としている。

②滞在時間はどれくらいが最適だと思いますか?

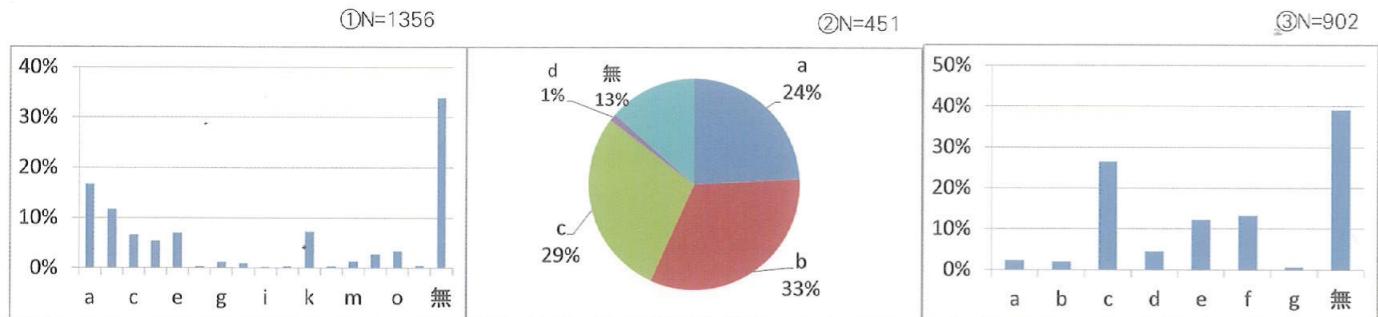
- a 1~2時間 b 半日 c 1日(日帰り) d その他(泊日)

b 半日や c 1日(日帰り)が多く何日間か滞在する人は少ない。また、宿泊する人のほとんどが 1 泊 2 日までしか滞在しない。観光資源が明らかでないため滞在時間が短いようだ。日帰りで楽しめる場所、イベントを企画するのもいいが、今後はリゾート地としての側面を持たせるなど工夫することによって滞在時間が長期化させることができるものではないだろうか。

③鹿野には誰を連れて来たいですか?(複数回答可・優先順位2つまで)

- a 1人で b ペットと c 友人と d カップルで e 夫婦で f ファミリーで g その他

c 友人とや e 夫婦で f ファミリーで訪れる人が多く、一人で訪れた人を考える人は少ない。【質問1】の③と同じような結果が出ている。



【質問5】今後、あなたが鹿野に期待することについておたずねします。

①鹿野にどのような施設があればいいと思いますか?(複数回答可・優先順位2つまで)

- a 観光案内所 b 温泉施設 c 癒しや趣味の場 d ペットに関連する施設 e 農業体験できる施設 f スポーツ施設 g 農産物直売所 h 大規模商業施設 i その他
- 癒しや趣味の場が3割を占めており、ゆったりとした時間を求めていることが分かる。続いて温泉施設、農産物直売所となっている。これらは既に存在しているため、情報を提供していくことが課題となっている。また他の回答として、文化施設やホール、カヌー教室や子ども向けのアスレチック等遊べるところ、自然をそのままに生かした公園や登山施設、休憩所としてのカフェやトイレ等の無料休憩所、道の駅等があった。

②鹿野の情報を知る際、どの情報媒体が便利ですか?(複数回答可・優先順位2つまで)

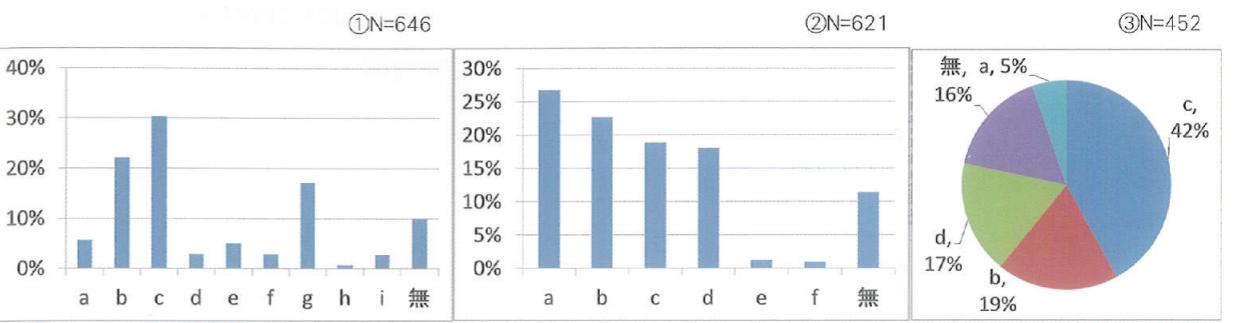
- a 地域広報誌 b テレビ・ラジオ c 新聞や雑誌 d インターネット e メールマガジン f その他

地域広報誌が4分の1の割合を占めているが、これも口コミの一種だと思われる。質問2の②と合わせて考えると、TVやラジオ、インターネットの発信に期待する声が多い。

③鹿野を訪れた人への地元ガイドは必要だと思いますか?

- a 是非必要だと思います b できればガイドしてほしい c どちらともいえない d 必要ない

地元ガイドについてどちらとも言えない人が半数近く占めている。ガイドに積極的な人は a,b 合わせて 24% ということではあるが、ファミリー層や少人数の旅行が多いため、自分のペースで観光したい人、またそもそもガイドというものが想像できないこと等、様々な要因が考えられる。



【質問6】鹿野では今後、鹿野をより魅力的な地域にするための活動を進めていきたいと考えています。

このことについて、期待していることや何かアイディアがあればご自由にお書き下さい。

○鶴

(店舗・施設)

・避暑地として別荘

(イベント・ツアー・自然)

・おいしいお店

・豊かな自然景観は壊さず地元産業の活性化(農産物を使った加工品や直売をもっと広げる)

・ペット OK の Café や施設

・山林を限定し仕分けて建築材として新緑や紅葉まで観光になる広葉樹林をもっと増やす

・バザー

・農業体験や魚のつかみ取りの行事

・お祭り

・東日本エリアのような冬期の渓流釣りができるようにすればいい

・自然の中で遊べたらいい。

・川であそぶところ、ハイキングコースがあればいいと思う

・若い人、特に小さい子供がいる家族のためのイベント

やその足となる交通手段(ツアーバス等)(無料など安い料金)があれば来易いと思います

・冬季に行うイベント、冬ならではの施設

・より近く、山の活用、自然の活用

・バイクツーリングコース(林道でオフロードコース)又はサイクリングコース

・季節ごとのイベント(クリスマスライトアップなど)

・古い街並みの活性化

・コンサートをお願いします。

・独自の活動。自然を生かした体験や動物とのふれあい

・自然を大切にもらいたい

・観光施設パンフレット。メディア施設(ライブ会場や野外音楽施設)

・アウトドア体験が気軽にできる場所を作ったらよい

・土地の有効利用で四季の花畠など、どこを見ても緑

